

令和3年度 第6回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和3年9月30日（木）午後7時00分～8時30分 庁議室+Web会議

出席者 谷部議長、松本副議長、稲垣委員、小原委員、齋藤委員、指田委員、
二ノ宮リム委員、信國委員、吉村委員

欠席者 吉川委員

事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開 会

＜配付資料＞

資料1 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会
第11回実行委員会 次第

資料2 あきしま学びぶらん（第2次昭島市生涯学習推進計画）の評価と今後の生涯
学習推進計画のあり方について（建議 案）

資料3 東京都市町村社会教育委員連絡協議会統一テーマ一覧

- ・昭島市月間行事予定表 10月
- ・とうきょうの地域教育 No.143
- ・令和3年度第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会開催要項
- ・あきしまの教育 第105号
- ・令和3年度昭島市青少年全欧表彰候補者及び青少年健全育成協力者感謝状贈
呈候補者の推薦について（依頼）

2 報 告

（1） 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第11回実行委員会につ
いて（9/27）（資料1）

※事務局より資料について説明

（2） 令和3年度小学生リモート交流事業について

委 員 8月29日に2回目の交流会を実施、午前の部では岩泉の子どもたちと昭島市の子ども
たちで謎解きゲーム大会を行った。午後の部では子供たちに作文を書いてもらった。
概ねスムーズに進んだのだが、既定の時間内で作文を書けない子もいて、学校の先生に
サポートをお願いすることになってしまった。今回はリモートでの交流だったが、そう
すると友達どうしのちょっとした雑談ができないという感想もあった。

3 協 議

(1) あきしま学びぷらん（第2次昭島市生涯学習推進計画）の評価について（資料2）

※事務局より、まとめ資料の説明

■小学校区を中心とした活動をしたという点において

委 員 コロナ禍の影響が非常に大きい。すべて対面で集まる社会活動が低迷し、ほぼ壊滅的影響を受けている。工夫して活動しているところもあるが、オンラインや人と会わずに活動するとなると、互いに知っているという情報がどんどんなくなっている。誰がどう努力をすれば改善できるというのではなく、これを踏まえてこれまでの延長線上ではなく再生していけるという状況ではないだろうということを考える必要がある。

委 員 子ども育成課の回答の中に放課後の活動の中に「コミュニティスクール」という言葉が出てくる。地域学校協働活動推進員の配置というのもあり、地域と学校をつなぐコーディネーターということかと思うが、こうした人員の配置が必要という話はこれまでも出ていた。学校区単位でやらなければならない事業もあるのではと思う。

委 員 コミュニティスクールとは、文科省のホームページを見ると学校運営協議会制度ということで、昭島市は学校評議員制度だが、それがもう少し権限を持っていると考えるとよい。例えば、学校運営の基本運営方針を承認し、学校運営について校長や教育委員会に意見をすることができる。設置は教育委員会の努力義務となっている。

■「情報の提供（発信）」という点において

委 員 個人情報の取り扱いについて、どの部分が一番ネックになっているのか。

事務局 一番はインターネットでの情報公開。検索できると便利というのはあるが、どのような方が見るのかわからない状況に対し、慎重なスタンスを取っている。

委 員 各団体の活動の連絡先が、個人のメールアドレスや電話番号ということか。活動内容などは、グループの同意があれば細かく載せられるのか。

事務局 各団体の情報については、インターネット上ではなく公共施設に「団体紹介カード」というファイルとしておいており、それには団体の活動内容とともに連絡先も掲載している。紹介カードの提出は任意。これは3年に1回更新を予定しているものだが、コロナ禍で更新できなかったものでこれから更新を予定している。

委 員 SNS による参加者募集を行っている団体も増えているが、Twitter や Facebook、Instagram などであれば個人情報を気にせずに連絡先を公開できるのではないかな。新しい連絡ツールも含めて連絡先を公開することを検討してもいいのではないかな。団体の情報を掲載するにあたっての検討。

委 員 アキシマエンシス建設の際、その一角に相談のできる生涯学習情報コーナーができればという話がこの社会教育委員会でも何度か出たが、そういったことも入れたい。

■その他

委 員 コーディネーターという方が実際にいるのか。

事務局 それを現在は「生涯学習サポーター」という形で活動していただいている。

委 員 生涯学習サポーターはこれまで小学校や地域で活動している方々が多いのか。コーデ

ィネーターというとは何かすごいことをやる人たちという感じがするが。

事務局 現在の生涯学習サポーターは、様々な活動領域から入ってくださった方が多い。

委員 生涯学習の相談のシステムづくりについて、ボランティアの人材養成も必要だが、やはり社会教育主事の役割が非常に大きいと考える。市の社会教育を支えているので、社会教育主事の役割や価値を広く認識してもらいたい。正職員化や複数体制など、難しいハードルはいろいろあると思うが、立場の保証が重要だと社会教育委員からの意見として入れたい。とても必要なことだと考える。

事務局 あきしま学びぷらんの評価が一番の目的なので、この10年間でどうだったかをみなさんに評価していただきたい。

(2) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会統一テーマについて(資料3)

議長 来年度は昭島市が会長市となるため、統一テーマを決めなければならない。資料をご覧いただき、次回協議したい。

(3) 令和3年度社会教育関係委員研修会について

事務局 例年2月に実施している社会教育関係委員研修会について、今後オンラインの会議も促進していく意味も含め、オンラインでも参加できるような形にしたいと考えている。来月以降内容について、皆さんにもご提案いただきたい。

(4) その他

事務局 今年度の東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会は12月4日(土)午後、武蔵村山市で開催される予定なので、ご予定をお願いしたい。

次回

10月28日(木) 午後7時より 205 会議室+Web 会議

11月26日(木) 午後7時より 602 会議室+Web 会議